

(第3種郵便物認可)

オピニオン

厚生年金基金に加入している企業の経営者は、連帯保証している年金負債金額を確認し、力を合わせて解散に向けた行動を起こすことを願う。多くの年金基金は巨額債務を抱え、その額は年々巨大化している。だが基金の負債は簿外債務であるため、経営者の多くは連帯保証している事実にすら気づいていない。

A-I-J 事件契機に

I-J投資顧問の事件が起きたことで、加入している「全国光学工業厚生年金基金」に巨額負債があることも、連帯保証の事実にも気づかなかった。A-I-Jによる28億円の損失通知と神戸のタクシー会社の年金連鎖倒産の報道で、当基金と自社が

恥ずかしながら、私もA-I-J投資顧問の事件が起きるまで、加入している「全国光学工業厚生年金基金」に巨額負債があることを、連帯保証の事実にも気づかなかった。A-I-Jによる28

億円の損失通知と神戸のタクシー会社の年金連鎖倒産

の一角で、145億円もの

巨額負債を抱え年金給付も



メトロール社長

松橋 卓司



厚生年金基金問題

まつはし・たくじ
80年(昭55)
日大農卒、同年日清食品入社。98年
メトロール入社、05年専務、09年社長。東京都出身、54歳。

私は「全国光学工業厚生年金基金の巨額簿外債務から会社を守る会」を立ち上げた。

連鎖倒産の危機

A-I-Jによる損失は氷山の一端で、145億円もの巨額負債を抱え年金給付も

加入中小は負債の把握急げ

投機も国からの借金。当社の場合、23年間支払った積立金はゼロ。1億2475万円の追徴金を払わねば任意脱退を許さない仕組みになっていた。仮に基金が解散できても社員一人当たり75万円、4177万円を国に返済しなければならぬ。

F-J信託銀行の検証の下、今後10年間4.2%と5.2%の高利回りを前提とした再建計画を進めようとしていた。直近5年間の利回りは好4.7%であり、基金は継続ありきの計画に、なら実現性を見いだせない。

F-J信託銀行の検証の下、今後10年間4.2%と5.2%

の高利回りを前提とした再建計画を進めようとしていた。直近5年間の利回りは好4.7%であり、基金は継続ありきの計画に、なら実現性を見いだせない。

小企業が連帯保証の事実さ

れで年金コンサルタントに

金会計と企業会計がかけ離れていて理解できない。そ

れで年金コンサルタントに

金会計と企業会計がかけ離れていて理解できない。そ

れで年金コンサルタントに

金会計と企業会計がかけ離れていて理解できない。そ

れで年金コンサルタントに

金会計と企業会計がかけ離れていて理解できない。そ

れで年金コンサルタントに

金会計と企業会計がかけ離れていて理解できない。そ

れで年金コンサルタントに

金会計と企業会計がかけ離れていて理解できない。そ

れで年金コンサルタントに

定かではない。

この20年間で東京の中小製造業は半分以下に激減した。生き残った会社はバブル時代に浮利を追わず本業に力を注ぎ、地道に年金を積み立ててきた。そんな中

が、解決の第一歩になる。(東京都立川市高松町1)